

海外展開に関するアンケート調査結果

歴史的な円高や国内市場の閉塞感、東南アジア経済の成長に伴う内需拡大で、中堅・中小企業にも海外進出意欲が高まっています。このような環境の中で、会員企業においては海外展開に関してどのような考えを持たれているのか、またどのような支援が必要なのか、海外展開状況と課題を把握するため、アンケート調査を実施しました。

【 調査結果要約 】

- ・ 現在、「海外に事業展開している」と回答した企業は 22 社 (23.7%) で、事業展開をしている国は、1 位が中国 (19 社)、2 位がタイ (9 社)、3 位が台湾 (8 社) となっている。
- ・ 今後、「海外に事業展開の計画 (再・拡張投資含む)」があると回答した企業は 12 社 (12.9%) で、海外展開を計画している国は、中国が 5 社でトップ。次いで韓国が 3 社で、ベトナム、台湾、シンガポールが各 2 社で続いている。
- ・ 今後、「海外展開に関心がある」と回答した企業は 18 社 (19.4%) で、関心がある国は中国が 7 社でトップ。次いでベトナムが 5 社、タイが 4 社で続いている。
- ・ 海外展開を考える際に重視する要素は、「海外市場の開拓」が 40 社で最も多く、「取引先企業の海外移転」が 22 社、「安価な労働力の確保」が 16 社となっている。
- ・ 海外へ進出する場合に必要な情報は、「現地の政情および産業経済動向」が 33 社で最も多く、「現地の法務・労務・税務」が 31 社、「現地企業との調達・取引・販売先等」が 29 社となっている。

1. 調査の概要

- ・ 調査方法 調査票の発送・回収ともに FAX
- ・ 調査期間 平成 23 年 12 月 2 日～12 月 15 日
- ・ 調査対象 本会会員企業 360 社
- ・ 有効回答 93 社 (有効回答率 : 25.8%)

業 種 別		従 業 員 規 模 別		
		20 人未満	300 人以下	301 人以上
製 造 業	52 社 (55.9%)	6 社 (11.5%)	41 社 (78.9%)	5 社 (9.6%)
非製造業	41 社 (44.1%)	4 社 (9.8%)	28 社 (68.3%)	9 社 (21.9%)
合 計	93 社 (100%)	10 社 (10.8%)	69 社 (74.2%)	14 社 (15.0%)

2. 調査の結果

1. 現在、海外に事業展開をされていますか。

現在、「海外に事業展開をしているか」との問いに対して、「展開している」と回答した企業は 22 社 (23.7%) で、一方、「展開していない」と回答した企業は 71 社 (76.3%) だった。

製造・非製造業別でみると、製造業 (52 社) で「海外展開している」企業は 15 社 (28.8%) で、「展開していない」企業は 37 社 (71.2%) だった。

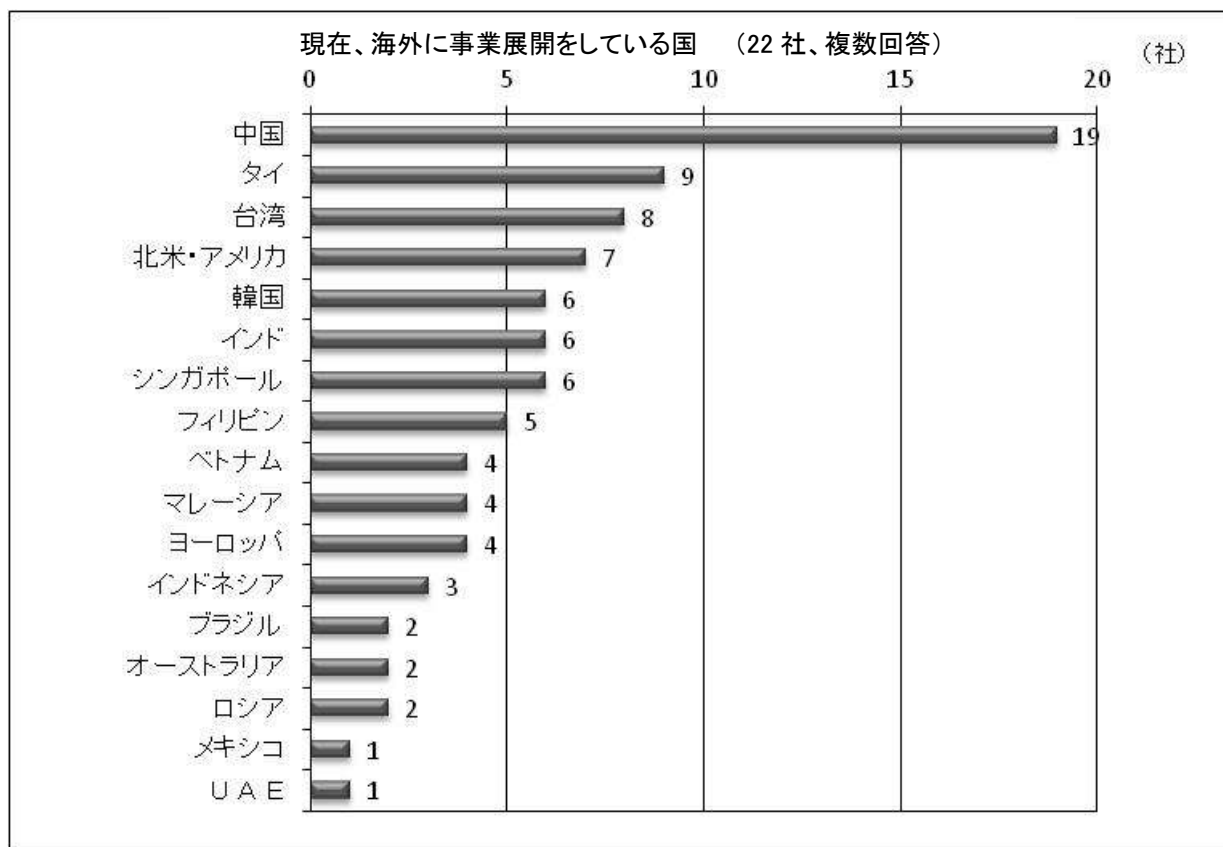
一方、非製造業 (41 社) では、「海外展開している」企業は 7 社 (17.0%) で、「展開していない」企業は 34 社 (83.0%) だった。

海外展開状況 (93 社)



2. 「海外に事業展開している」と回答された企業に対して、どの国に事業展開をされていますか。

現在、「海外に事業展開をしている」と回答した企業 (22 社) が「事業展開している国」は、1 位が中国 (19 社)、2 位がタイ (9 社)、3 位が台湾 (8 社) と続いている。



製造・非製造業別でみると、製造業で海外展開している企業 (12 社) の「事業展開している国」は、1 位が中国 (13 社)、2 位がタイ (7 社)、3 位が台湾 (6 社)、4 位に韓国、マレーシア、北米・アメリカが 4 社で続いている。

一方、非製造業で海外展開している企業 (7 社) の「事業展開している国」は、1 位が中国 (6 社)、2 位がシンガポール (4 社)、3 位が北米・アメリカ (3 社) と続いている。

3. 今後、海外に事業展開を考えていますか。

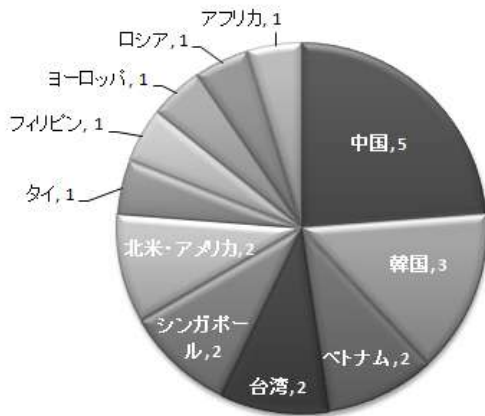
今後、「海外に事業展開を考えているか」との問いに対して、「(再・拡張投資含み) 計画がある」と回答した企業は 12 社 (12.9%) で、「関心がある」と回答した企業は 18 社 (19.4%) だった。

4. 「計画がある」「関心がある」と回答した企業に対して、どの国に計画または関心がありますか。

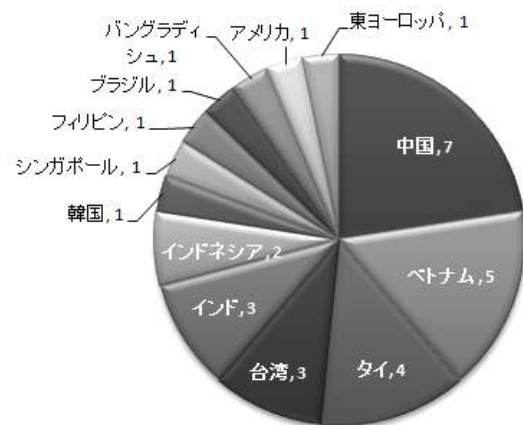
「計画がある」と回答した企業 12 社が海外事業を計画している国は、1 位が中国 (5 社)、2 位が韓国 (3 社)、3 位が台湾とシンガポールが 2 社で続いている。

「関心がある」と回答した企業 18 社が海外事業を展開する国として関心があるのは、1 位が中国 (7 社)、2 位がベトナム (5 社)、3 位がタイ (4 社) と続いている。

海外展開を計画している国 (12 社、複数回答)



海外展開に関心がある国 (18 社、複数回答)



5. 海外展開を計画・検討する際に重視する要素はどのようなことですか。

「海外展開を計画・検討する際に重視する要素」として、「海外市場の開拓」が 40 社でトップとなり、次いで「取引先企業の海外移転」が 22 社、「安価な労働力の確保」が 16 社で続いている。

その他の意見として、「現地の法律」、「ユーザーの国の地域的特性への対応」、「関税の問題」、「コントリーリスク」などが挙げられている。

海外展開を計画・検討する際に重視する要素 (93 社、3 項目以内複数回答)

1	海外市場の開拓	40 社
2	取引先企業の海外移転	22 社
3	安価な労働力の確保	16 社
4	原材料・部品の確保	15 社
5	円高対策	12 社
6	会社のブランド力向上	9 社
7	有利な税制(優遇税制)	7 社
8	エネルギー供給問題	3 社
9	拠点の分散	1 社

6. 海外へ進出をする場合、どのような情報が必要ですか。

「海外へ進出をする場合どのような情報が必要か」との問いに対して、「現地の政情および産業経済動向」が 33 社でトップとなり、次いで「現地の法務・労務・税務」が 31 社、「現地企業との調達・取引・販売先等」が 29 社と続いている。

海外に進出する場合に必要な情報
(93 社、3 項目以内複数回答)

1	現地の政情および産業経済動向	33 社
2	現地の法務・労務・税務	31 社
3	現地企業との調達・取引・販売先等	29 社
4	リスクマネジメント	24 社
5	海外要員の確保	18 社
6	現地法人設立の各種手続き	13 社
7	現地の各種優遇制度	4 社
8	海外進出に関する融資制度	1 社

7. 海外展開の課題や要望等について

【課題】

- ・ 政府のバックアップと海外進出派遣要員の育成。
- ・ 取引先の海外工場（世界に 23 工場）からの現地生産の協力要請があるが、海外生産に進出すると、国内の生産が 50%以下に低下する。現在の社員数も半数を解雇しなければならなくなる。国内でもう少し頑張ろうと考えている。
- ・ 現地での採用活動が課題（語学等）

【要望】

- ・ 進出企業の経験に基づいた「課題・問題・注意点」を国別に知りたい。
- ・ 海外でのビジネスマッチング（M&A を含む）の場を知りたい。

【その他】

- ・ 製造業の生産拠点の海外移転が加速し、国内産業が空洞化する状況にある。中小企業が日本国内で生き残れるために、「円高対策」「法人税減税」「内需拡大策」「経済対策」などの政策を実行できるよう、働きかけを強化していただきたい。

以上
ご協力ありがとうございました。